

2023 年春季(春休み)語学留学/ディーキン大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで紹介されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。
プロジェクターを使い教科書も電子でした。授業内容は、教科書のことを進めながら、英単語を覚えれるようなゲームをしたり、グループディスカッションがとても多かったです。
授業の進め方としては、オンラインで配布されるテキストに沿って文法や長文読解、エッセイの書き方を学びました。また、グループを組んでプレゼンテーションやスピーキングテストを行いました。授業での発言は、先生が一人一人当てるのではなく分かった人が発言する形が多かったです。
ほとんどグループワークでグループと一緒に問題を解いたりディスカッションをしたりしていた。
グループワークが多く、2人や4人のグループになって授業を進めました。グループでディスカッションをして答えを考えたり、自分の考えや経験を話しました。
学生全員が意見を発言できるような授業で全員参加型でした
対面授業でディスカッション中心の授業が多かったです。
Reading, Writing, Listening, Speaking の4技能を鍛える授業をしてくださいました。例えば、午前中の授業は Speaking と Writing、午後の授業は Listening と Speaking と1日で各、4技能の授業を毎日してくれます。
授業の形態は対面で全て行われ、進め方は早くなく、学生に合わせたペースだなと感じました。
授業は、座学と討論、グループやペアワークが多かった。授業ごとにタスクがあり、インターネットを利用して進めた。ペアワークでは、2~4人のグループになって自分の考えを共有した。セミナーテストという、討論形式のスピーキングテストがあり、グループメンバーと一つのお題に対して5~6分クラスの前で話し合った。アクティビティの一つで、クラスメイトと話す機会が多かった。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。
クラスは20人ぐらいで一人だけコロンビアからの学生がいました。そのほかは日本人でした。
クラスの人数は18人で、その中にタイ人の女の子が2人いました。春季語学留学では、比較的日本人が多く東京の大学からきている大学生もいました。他の留学生は、アラブ首長国連邦からきている人もいました。
クラスは17人ぐらいでコロンビア人が一人だけいた。
クラスの人数は基本17人でトルコ人1人と中国人1人と日本人15人でした。最終週は3クラス合同になり、コロンビア人2人、中国人1人、トルコ人1人、日本人9人の計13人でした。
17人クラスで2人がタイ人で他全員日本人でした
クラスの人数は18人でほとんどが日本人、二割ぐらいがコロンビア人でした。
日本人と留学生の比率はどちらも半々ぐらいです。台湾人が1人、中国人が2人、コロンビア人が2人、モンゴル人が2人。
クラスの人数は17人で、日本人が15人、タイ人が1人、コロンビア人が1人と大半が日本人でした。
クラスは、13人で、日本人が10人、他国の留学生が3人だった。他国の留学生は中国、コロンビア、カンボジア出身だった。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

クラスの雰囲気は日本だとしっかりとノートを取りながら授業を受ける感じですが、私たちのクラスは軽くノートを取りますが、ほとんど先生と会話をしながら楽しく授業を受けることができました。そのおかげでみんながいろんな意見をたくさん答えることができました。

日本の授業と違うところは、発言する機会が多かったことです。クラスみんなの雰囲気は暖かくすぐ過ごしやすかったです。みんなが分かたらずぐに発言する形だったので普段日本の授業では発言することが出来なかった私ですが、気軽に発言できる環境で積極的に参加できました。

授業は全部英語でクラスメイトは積極的に発言する人が多かったので発言はしやすかった。

教室では基本的に英語のみを話しました。グループワークなので、わからないところはお互いに助け合いました。そのため、多くの人と交流が取れて、仲良くなることができました。外大の必修授業に形態は似ており、より、英語を使う機会が多いと感じました。

とても良くて、全員優しく教えてくれたり助け合っていました。

雰囲気はとてもよく、賑やかなクラスでした。

授業を受ける時と休む時で、メリハリがあり、とてもいい雰囲気でした。また、日本の授業との違いは授業内での Discussion が多かったです。

クラスの雰囲気は比較的日本と似ていましたが、やはり日本人以外のの方が積極性がある風に感じました。

自分のクラスメンバーのモチベーションが高かったこともあり、全ての会話を英語でしていた。わからないことやふと思ったことを日本人同士であっても、英語で話していた。また、課題やテスト一つ一つが大変で、しっかりと準備をして取り組んでいた。他国の留学生と、お互いの国の文化や言語を教え合ったりしていた。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

一番印象に残っている内容はエッセイの書き方を学んだことです。日本でもエッセイを学んでいましたが、今回の留学ではさらに詳しく良いエッセイの書き方を学びました。

メルボルンの彫刻についてのトピックが印象に残っています。メルボルンは町中にもアートが溢れていてアートの都市と呼んでもいいくらいでした。

地震についてのトピックでは日本と外国の地震の頻度などを比較したりしておもしろかった。

映画やテレビなど、映像についての授業が楽しかったです。まずみんなの好きな映画についてディスカッションをしました。また映像について学べる博物館に行き、映像がどのようにつくられているのかについて学びました。とても興味深いものでした。

オーストラリアのことについてプロジェクトを通して発表する際にオーストラリアンフットボールについて学びました。

オンライン授業と対面授業を比較するトピックでした。オンライン授業と対面授業の良い点、悪い点を授業を通して、詳しく学び、新たな発見をすることができた。

印象に残っているのは、自分たちでクイズを作成し、クラスメイトの前でプレゼンテーションをしたことです。

観光については、とても印象に残っている。最初に出されたタスクのお題だったこともあり、とても考えを深め、多くの知識を得ることができた。「観光は目的地の国にとって有益であるか」というトピックが、特に印象に残っている。今まで観光はいいものであるとしか考えてこなかったため、改めて長所と短所を見つけることができた。多くの人にとってとても興味深いトピックであると思う。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

授業はすべて英語で話すのでより英語を発音良くできるように友達やホストファミリーに発音を教えてもらったりしました。

予習・復習を十分にしていってから授業に取り組んだことです。

先生が言っていることを聞き逃さないように集中して授業を聞いていた。わからない単語も多かったのですがすぐに調べて意味を理解するようにしていた。

積極的に発言するように心がけていました。また、知らなかった単語をその時に調べてノートに書くようにしていました。

自分の単語力の低さを改めて痛感したのでクラスで使いそうな単語をたくさん勉強しました。

積極的に発言することです。

授業についていけるように、ルーズリーフに大事なところをメモしていた。

工夫していたことは、好きにペアを組める時は積極的に日本人以外の人と組むようにしていたり、日本人の人となった時も英語を使うようにしていました。

計画的に課題を進めることを意識して、毎日過ごしていた。一つの課題が終わっても、次の課題の締め切りがすぐに来るために計画的に進めなければ、締め切りに間に合わなかったと思う。英語で積極的に話すようにも、意識していた。自分の意見を言うことで、多くの知識を得るのにとっても大切なことだと思った。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの人でしたか。	通学手段	通学時間
1人	日本人	バス	30-45分
3人	ルームメイトは日本人でした。二人とも東京の大学から来ていました。	電車	15-30分
1人	日本	バス	30-45分
2人	日本人1人とベトナム人1人でした。	バス	45-60分
1人	日本人	徒歩	15-30分
2人	日本	バス	30-45分
2人	日本人1人と台湾人1人	バス	45-60分
2人	2人いてどちらも日本人でしたが、東京の方達でした。	バス	45-60分
1人	日本人だった。	バス	30-45分

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッドと机とソファとか必要最低限の物がありました。	
部屋には当然ベッドや机は用意されていました。そのうえ、洗濯物を干すハンガーやたこ足、洋書、冷蔵庫、ドライヤーを用意してくださっていました。ウェルカムプレゼントとしてカンガルーのぬいぐるみ、キーホルダー、お弁当袋、お菓子を用意してくれました。	シャンプー、リンス、ボディソープのみを用意しました。
ハンガー、机、変圧器、ベッド、クローゼット、ドライヤー	タオル、シャンプー類、お弁当箱
ベッド、テレビ、クローゼット、タンス、机、シャワー、トイレ、ヘアアイロン、ドライヤー、バスタオル、フェイスタオル、ティッシュ、ハンガー、石鹸、歯磨き粉	シャンプー、コンディショナー、トリートメント、洗顔、ボディソープ、化粧水、保湿クリーム、生理用品
ベッド、ライト、勉強机、クローゼット、ハンガー	ティッシュ
ハンガーやボディソープ、シャンプー	服、部屋着、財布、目覚まし時計、携帯電話、パソコン、スリッパ
ベッド、クローゼット、ハンガー、机、椅子、収納だな	ドライヤー、タオル類、シャンプー類
ベッド、机、椅子、カラーボックス、洋服入れ、ドレッサー、延長コード、ドライヤー、タオル	シャンプー、リンス、ボディソープ、洗顔類、洋服

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

シャワー入る時間が15分以内で時間制限があること。洗濯物を洗うのは週一回と決まっていたことです。

洗濯が週に一回であることや、水が貴重なため、シャワーの時間が限られていたことです。

シャワーの時間が決まっている。寝る時間が早い
浴槽がなく、シャワーしか使えません。また、洋食ばかりで、和食がほとんど出ないということです。
シャワーしかないことぐらいです。

ホームステイを快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ホストとコミュニケーションをとることはもちろんですが、ルームメイトとも仲良くなることでより一層快適に過ごせます。決められた家庭のルールを守ることです。
ホストファミリーに言いたいことがあったら早めに言ったほうが良いと思う。
ホストファミリーとよく話すことが大事だと思います。
ホストファミリーとたくさん話す
早寝早起きをして、規則正しい生活を送ること。
困ったことやわからないことがあってもホームステイ先の方に聞けばなんでも解決しました。
ドライヤーは基本あるので、持っていく必要ないと思う。暑いこともあり、水筒必須だが、オリエンテーションの時にタンブラーが配られるため、それを利用するのもアリだと思う。また、現地には可愛いものが多いので、買うのもいいと思う。

パソコンは持参しましたか。	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい	日本から SIM カードを持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	留学先で SIM カードを購入	ワイヤレスで可能	いいえ
はい	日本で海外用携帯を購入・レンタルして持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	いいえ
はい	日本の携帯をそのまま持参	LAN ケーブルで可能	いいえ
はい	日本からポケット Wi-Fi を持参	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能	はい
はい	日本から SIM カードを持参	ワイヤレスで可能	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
大学開催のツアーでフィリッパ島に行きました。また、自由時間では友達と話をしたり、昼休みには先生や海外からの留学生、日本人が混ざり UNO やトランプをして遊ぶ教室に一度行きました。	学内には三つくらいカフェがあたのでそこで課題をしたり、Burwood Brickworks shopping center と呼ばれるショッピングセンターで過ごしました。そこには映画館やカフェ、スーパーなどが揃っていて充実していました。
土日は毎週出掛けるようにして、学校主催のツアーにも参加した。	学内のカフェに毎週のように行っていたけど全部高かった。
大学主催のツアーに参加し、グレートオーシャンロードとフィリッパアイランドに行きました。	友人とメルボルン市内によく観光に行ったり、海に行ったりしました。市内にはいろいろな店がありました。オーストラリアで有名な cotton on という服屋や koko black というチョコレート屋に行きました。
メルボルンの観光名所を回るツアーに参加しました。	ほぼ、毎日、1～2時間、図書館で勉強をしていた。
ジムに数回行ったたり、放課後のイベントに参加したりしました。	学校内にカフェがたくさんあったのでそこを利用したりしていました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
留学前は少しでもボキャブラリーを増やすために単語の勉強を毎日しました。
会話の中で使える簡単な英語を覚えるようにした。
洋楽を聞いたり、洋画を見ました。
単語帳を毎日、見たり、DMM1の英会話レッスンを何回か受けていた。
留学前には英単語を覚えたり、日常会話で使えるものを積極的に学んでおきました。
留学先についてインターネットで調べた。

留学前にしておけばよかったと思う準備
もう少し難しい単語も勉強しておくこと、日頃から英語を聴くようにしておいたらよかったと思う。
単語の勉強をもっとしておけばよかったと思いました。
日常会話を勉強しておけばよかった
リスニングの問題をもっと、やっておけばよかった。
もっと単語を覚えたり、相手との会話の中での反応の仕方をもっと多く学んでいけば会話の幅がもっと膨らんだのかなと感じました。
ボキャブラリーをもっと増やしておくべきだった。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
地元で作られた布巾と、抹茶のお菓子を持っていったら喜ばれました。
ホストファミリーへのお土産として日本のお菓子を持って行ってとても喜んでくれた。日本のお茶のティーバッグや味噌汁など持って行って役に立った。
抹茶のキットカットをホストファミリーに渡したら喜ばれました。
日用品は現地で買うと高いので多めに持って行っておけば役にたった
プラスチックバック、タオル
日本のことが大好きな家庭だったので日本食や緑茶のパウダーはとても喜ばれました。
抹茶のお菓子はとても喜ばれた。ハンドクリームやヘアオイルなど保湿類、日焼け止めは持っていくべき。乾燥で荒れることが多くある。帽子も持っていくべき。

日本から持っていく必要のなかったもの	日本から持参すればよかったと思ったもの
特になし	シャンプー類、風邪薬
特になし	水筒
ハンガー、シャンプー	髭剃り、パソコン
柔軟剤、ハンガー	特になし
洗濯ハンガー	

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくらぐらい準備しましたか。
オーストラリアドルを6万円近く、クレジットカードには念のために十分にお	現金6万円、クレジットカード上限20万円、デビットカード上限なし

金を入れて持っていきました。	
ほとんどクレジットで、現金も少しだけ持っていった。	現金3万
クレジットカードと現金	現金 5 万円とクレジットカード上限 20 万円
現金、クレジットカード	25万
現金、デビットカード、クレジットカード	現金4万円、クレジットカード上限 30 万
クレジットカード2枚と現金5万円	クレジットカード上限 20 万円を2枚、現金 5 万円
クレジットカードと現金	現金は 10 万ほど

現地で支払った住居費と食費を教えてください。

住居費ゼロ、食費5万円いかないくらい

なし

物価が高いので外出時の食事代とかで2万円以上使った気がします

テキスト代と通学費はそれぞれいくらぐらいかかりましたか。

一切かからなかったです

通学費はかかりませんでした。テキストはパソコンで使用しました。

テキスト代も通学費もかかりませんでした。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

お土産、自分のコスメやファッションに使って6万くらい使いました。

10万ぐらい

ツアーに4万ほど使い、お土産に2万から3万円くらい使い、娯楽費が2万から3万くらいです。

約7万円

お土産をたくさん買ったり、ツアーに2回も参加したので10万円ぐらい

トータルで5万以上

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

語学力はまだ日本にいるよりも上がったと思います。単語の使い方や使う場面が理解できた。リスニング力も最初よりも最後の方には聞き取れるようになっていた。

最初は現地の人と喋る時になかなか英語を喋ることができなかったけど、だんだん慣れてきてコミュニケーション能力が上がったと思う。

ホストファミリーやクラスで英語を多く使用したので、リスニング力が上がったと思います。また留学前に比べて、英語を話すことに対する抵抗感が減り、積極的に話すことができるようになりました。またコミュニケーション能力も上がったように感じます。

オーストラリアに来てからすぐにはなかなか、うまく話すことが出来なかったけど、だんだん聞き取れるようになり、前よりうまく話せるようになった。

語学力は向上したなと感じています。

短期間だったこともあり、格段に語学力が上がったことは感じられないが、コミュニケーション能力が良くなっているとは実感できた。多くの人と英語で話すことで、英語で話すことに抵抗がなくなった。事前に英語でどう言うと考えずに、言いたいことをその場で考えて言っていた。

留学前の目標とその達成度

留学前の目標としては、コミュニケーションのラリーを続けることを目標としていました。ホストや担任の先生、student leader とも会話することが出来ました。

自分の視野を広げるために行っただけ、だいぶ自分の視野を広げることができた。

留学前の目標は英語を積極的に話すことができるようになることで、留学前に比べて少しは話すことができるようになったと思います。

1回で、先生やホームステイの人の英語で話している内容を1回で理解するのが目標でした。最初は1回で理解することが出来なかったけど、何回か会話していくうちに聞きなれてきて、1回で理解できるようになった。

留学前の目標は英語を流暢に話すことでしたが、流暢に話せるようには1ヶ月ではまだまだ足りませんが、以前よりも話せるようになったなど自分では感じています。

異文化経験をして、英語を話すことに抵抗感をなくすことを目標としていた。目標は、達成され、とても充実した日々を過ごすことができた。

留学を通しての成長ポイント

リスニング力が一番伸びたかなと思います。初めは飲食店に入って注文することも少し緊張し手こずった感じでしたが、段々慣れや話し方を聞いているかを学ぶことができ力が身についたと感じました。

コミュニケーション能力

自分で洗濯したり昼食をつくったり、部屋を掃除したりすることで、生活に必要なことを積極的にするようになりました。

異文化対応力、コミュニケーション力、リスニング力

私は特にリスニング力がついたなと感じました。食事の際は毎日ニュース番組がついていて、留学始まった当日よりも最終日の方が聞き取れる量が増えているなどとも感じました。

日本にいたときより、広い視野を持つことができた。また、どんなことにも挑戦する、取り組んでみる力が身についた。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

特に変化することはなく初めから最後まで極力英語で話し、毎日学んだことを復習し勉強しました。

もっと英語力をあげたいと思うようになった。

留学中は留学前より語学学習に対するモチベーションが上がっていました。また、留学後にはより、語学学習に対する意欲が高まりました。

留学前より英語の4技能は身についたと思いますが、まだまだだと思うので、TOEIC や TOEFL の問題を解いたりして、もっと、上達できるように頑張りたいと思いました。

留学前よりも自分に足りていない部分が明らかになったのでそこを改善できるように頑張らないといけないと思うようになりました。

留学前は、英語ができるようになりたい、試験でいい点を取れるようにと考えていた。留学中は、日常で使える英語を学びたいと思っていた。自分のできる限りの英語能力でどれだけ伝えられるかを重視していた。話し相手の言っていることも理解できるようになって、会話ができていた。しかし、時々本当にこの解釈であっているのか不安になることがあった。留学後は、生きる英語が使えるようになりたいと思っている。形式ばった、教科書の英語ではなく、ネイティブが使うような英語を学びたいと思っている。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

テストで、プレゼンテーションとスピーキングテストを同時に行われました。スピーキングテストの内容がプレゼンテーションの内容の質問を先生に質問され答えるという内容でした。何を聞かれるか分からないので事前に十分に調べ準備が必要でした。そのスピーキングテストが一番力を振り絞りました。

スピーキングテストの時に感情をこめて聞き取りやすく話すことを意識し頑張りました。

3人のグループでプレゼンテーションがあり、原稿文を考えたり、英語の発音を確認したりして、何回も練習をしました。

海外での生活が初めてだったので、初めてお店で料理を注文する際はとても力を振り絞りました。

毎瞬間、時間が過ぎるのが早いため、全てにちからをそそいでいた。

留学先大学の良かった点

大学の施設がすごくきれいで、揃っていて快適に過ごせました。新入生を歓迎するためにフードトラックやカフェを開いて楽しく過ごせて良い思い出が出来ました。

カフェがたくさんあってよかった

留学先大学の先生はとても優しく親身になって話を聞いてくれました。また授業中で発言すると間違っても当たっても褒めてくれてモチベーションを上げてくれました。

分からないところがあれば、すぐに対応してくれた。

設備がとても整っていたり、先生たちも学生に寄り添ってくれる方ばかりでとてもいい大学だったなと感じました。

ディーキン大学は、敷地がとても広く開放感があり、学生がのびのびと生活できていた。施設も充実していて、学びにも運動にも力を注ぐことができた。カフェや学習スペースが多くあり、それぞれのスタイルに合わせて、生活できていた。